



レプリケーションの管理

Amazon FSx for NetApp ONTAP

NetApp
September 02, 2024

目次

| | |
|------------------------|---|
| レプリケーションの管理 | 1 |
| レプリケーション関係を作成する | 1 |
| レプリケーション関係を初期化する | 4 |

レプリケーションの管理

レプリケーション関係を作成する

予期しない災害が発生した場合のデータ損失を回避するために、FSx for ONTAPファイルシステムのレプリケーション関係を作成します。

タスクの内容

レプリケーションはデータ保護の追加レイヤであり、データが格納されているリージョンで災害が発生した場合に不可欠です。リージョン間レプリケーションを使用する場合は、データ損失を回避できます。

この処理では、FSx for ONTAPファイルシステム内の1つまたはすべてのソースボリュームに対してレプリケーション関係を作成します。

ターゲットファイルシステム内のレプリケートされたボリュームは、という命名形式に従います
{OriginalVolumeName}_copy。

開始する前に

作業を開始する前に、次の前提条件を満たしていることを確認してください。

- レプリケーション関係を作成するには、ストレージインベントリに2つの使用可能なファイルシステムが必要です。
- レプリケーション関係に使用する2つのファイルシステムには、リンクが関連付けられている必要があります。ファイルシステムに既存のリンクがない場合は、"[最初にリンクを作成します](#)"を参照してください。ファイルシステムで "[リンクの関連付け](#)"、[アカウント名]*の[関連付け]リンク*をクリックします。リンクが両方のファイルシステムに関連付けられたら、この操作に戻ります。

単一のボリュームをレプリケートするか、ファイルシステム内のすべてのボリュームをレプリケートするには、次の手順を実行します。

単一のボリュームをレプリケート

手順

1. にログインします。 ["Workload Factoryコンソール"](#)
2. [Storage]で、*[Go to storage inventory]*を選択します。
3. FSx for ONTAP タブで、レプリケートするボリュームを含むファイルシステムの3つのドットメニューを選択し、Manage *を選択します。
4. [Volumes]タブで、レプリケートするボリュームの3つのドットメニューを選択します。
5. を選択し、[ボリュームデータのレプリケート]*を選択します。
6. [Create replication]ページの[Replication target]で、次の情報を指定します。
 - a. * FSx for ONTAPファイルシステム*：対象となるFSx for ONTAPファイルシステムのクレデンシヤル、リージョン、FSx for ONTAPファイルシステム名を選択します。
 - b. * Storage VM名*：ドロップダウンメニューからStorage VMを選択します。
 - c. ボリューム名：ターゲットボリューム名は次の形式で自動的に生成されます
{OriginalVolumeName}_copy。自動生成されたボリューム名を使用するか、別のボリューム名を入力できます。
 - d. 階層化ポリシー：ターゲットボリュームに格納されているデータの階層化ポリシーを選択します。

_Auto_は、Workload Factory FSx for ONTAPユーザインターフェイスを使用してボリュームを作成する場合のデフォルトの階層化ポリシーです。ボリューム階層化ポリシーの詳細については、AWS FSx for NetApp ONTAPドキュメントの[を参照してください](#) ["ボリュームのストレージ容量"](#)。

- e. 最大転送速度：* Limited *を選択し、最大転送速度をMB/秒単位で入力します。または、*無制限*を選択します。

制限がないと、ネットワークとアプリケーションのパフォーマンスが低下する可能性があります。また、FSx for ONTAPファイルシステムは、主にディザスタリカバリに使用されるワークロードなど、重要なワークロードには無制限の転送速度を推奨します。

7. [Replication settings]で、次の情報を指定します。
 - a. レプリケーション間隔：ソースボリュームからターゲットボリュームにSnapshotを転送する頻度を選択します。
 - b. 長期保存：オプションで、長期保存用のスナップショットを有効にします。

長期保持を有効にする場合は、既存のポリシーを選択するか、新しいポリシーを作成して、レプリケートするSnapshotと保持する数を定義します。

 - i. [Choose an existing policy]*で、ドロップダウンメニューから既存のポリシーを選択します。
 - ii. [新しいポリシーを作成する]*に、次の情報を入力します。
 - A. ポリシー名：ポリシー名を入力します。
 - B. * Snapshotポリシー*：表で、Snapshotポリシーの頻度と保持するコピーの数を選択します。Snapshotポリシーは複数選択できます。

8. [作成 (Create)] をクリックします。

ファイルシステム内のすべてのボリュームをレプリケート
手順

1. にログインします。 ["Workload Factoryコンソール"](#)
2. [Storage]で、*[Go to storage inventory]*を選択します。
3. [FSx for ONTAP]タブで、ボリュームのあるファイルシステムの3つの点のメニューをクリックし、*[管理]*を選択します。
4. ファイルシステムの概要で、*レプリケーションの作成*を選択します。
5. [Create replication]ページの[Replication target]で、次の情報を指定します。

- a. * FSx for ONTAPファイルシステム*：対象となるFSx for ONTAPファイルシステムのクレデンシヤル、リージョン、FSx for ONTAPファイルシステム名を選択します。
- b. * Storage VM名*：ドロップダウンメニューからStorage VMを選択します。
- c. ボリューム名：ターゲットボリューム名は次の形式で自動的に生成されます
{OriginalVolumeName}_copy。
- d. 階層化ポリシー：ターゲットボリュームに格納されているデータの階層化ポリシーを選択します。

_Auto_は、Workload Factory FSx for ONTAPユーザインターフェイスを使用してボリュームを作成する場合のデフォルトの階層化ポリシーです。ボリューム階層化ポリシーの詳細については、AWS FSx for NetApp ONTAPドキュメントのを参照してください ["ボリュームのストレージ容量"](#)。

- e. 最大転送速度：* Limited *を選択し、最大転送速度をMB/秒単位で入力します。または、*無制限*を選択します。

制限がないと、ネットワークとアプリケーションのパフォーマンスが低下する可能性があります。また、FSx for ONTAPファイルシステムは、主にディザスタリカバリに使用されるワークロードなど、重要なワークロードには無制限の転送速度を推奨します。

6. [Replication settings]で、次の情報を指定します。

- a. レプリケーション間隔：ソースボリュームからターゲットボリュームにSnapshotを転送する頻度を選択します。
- b. 長期保存：オプションで、長期保存用のスナップショットを有効にします。

長期保持を有効にする場合は、既存のポリシーを選択するか、新しいポリシーを作成して、レプリケートするSnapshotと保持する数を定義します。

- i. [Choose an existing policy]*で、ドロップダウンメニューから既存のポリシーを選択します。
- ii. [新しいポリシーを作成する]*に、次の情報を入力します。
 - A. ポリシー名：ポリシー名を入力します。
 - B. * Snapshotポリシー*：表で、Snapshotポリシーの頻度と保持するコピーの数を選択します。Snapshotポリシーは複数選択できます。

7. [作成 (Create)] をクリックします。

結果

レプリケーション関係が*[レプリケーション関係]*タブに表示されます。

レプリケーション関係を初期化する

ソースボリュームとターゲットボリューム間のレプリケーション関係を初期化します。

タスクの内容

初期化では、_baseline_transferが実行されます。ソースボリュームのSnapshotが作成され、そのSnapshotおよびSnapshotが参照するすべてのデータブロックがターゲットボリュームに転送されます。

開始する前に

この処理をいつ完了するかを検討してください。初期化には時間がかかる場合があります。ベースライン転送はオフピークの時間帯に実行することを推奨します。

手順

1. にログインします。 "[Workload Factoryコンソール](#)"
2. [Storage]で、*[Go to storage inventory]*を選択します。
3. [FSx for ONTAP]タブで、更新するファイルシステムの3つのドットメニューをクリックし、[管理]*を選択します。
4. ファイルシステムの概要で、*[レプリケーション関係]*タブを選択します。
5. [Replication relationships]タブで、初期化するレプリケーション関係の3つのドットメニューをクリックします。
6. [初期化]*を選択します。
7. [関係の初期化]ダイアログで、*[初期化]*をクリックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。